

会社概要

商号 日産化学株式会社
NISSAN CHEMICAL CORPORATION

本社 〒103-6119 東京都中央区日本橋二丁目5番1号
電話 (03) 4463-8111

創業 1887年4月

設立 1921年4月

資本金 18,942百万円

従業員数 3,099名(連結)

株主メモ

事業年度
毎年4月1日～翌年3月31日

定時株主総会
毎年6月

基準日
定時株主総会・期末配当：毎年3月31日
中間配当：毎年9月30日

1単元の株式の数
100株

上場証券取引所
東京証券取引所 プライム市場

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関
東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

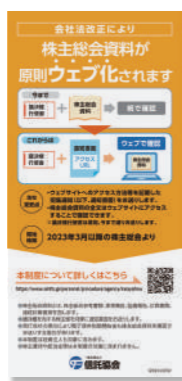
郵便物送付先・電話お問合せ先
〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
0120-782-031 (フリーダイヤル)

会社法改正により、 2023年以降の株主総会資料は、原則ウェブ化されました

当社は株主総会参考書類(議案)および事業報告の一部のみ書面で郵送しておりますので、それ以外の部分(事業報告、計算書類等)についても書面でお受け取りになりたい株主様は、お早めに「書面交付請求」の手続きをお願いします(既に手続きが完了している株主様はご対応不要でございます)。

なお、インターネットでの確認方法のご案内や、議決権行使書につきましては、引き続き郵送でお送りしております。

リーフレットを同封しておりますので、詳細につきましてはそちらをご参照ください。



役員 (2023年9月30日現在)

代表取締役 取締役会長	木下 小次郎
代表取締役 取締役社長	八木 晋介
取締役副社長	本田 卓
取締役 専務執行役員	石川 元明
取締役 専務執行役員	大門 秀樹
取締役 常務執行役員	松岡 健
取締役 (*1)	大林 秀仁
取締役 (*1)	片岡 一則
取締役 (*1)	中川 深雪
取締役 (*1)	竹岡 裕子
常勤監査役 (*2)	鈴木 規弘
常勤監査役 (*2)	竹本 秀一
常勤監査役	生頼 一彦
監査役 (*2)	片山 典之
常務執行役員	遠藤 秀幸
常務執行役員	佐藤 祐二
常務執行役員	畑 利幸
執行役員	野村 正文
執行役員	松村 光信
執行役員	青木 篤己
執行役員	川島 渡
執行役員	沖川 敏章
執行役員	中川 明浩
執行役員	石綿 紀久
執行役員	影島 智
執行役員	仁平 貴康
執行役員	小松 英司

(*1) 社外取締役 (*2) 社外監査役

IR情報はウェブサイトからもご覧になれます
https://www.nissanchem.co.jp/ir_info/index.html



住所変更、単元未満株式の 買取・買増などのお申し出先について

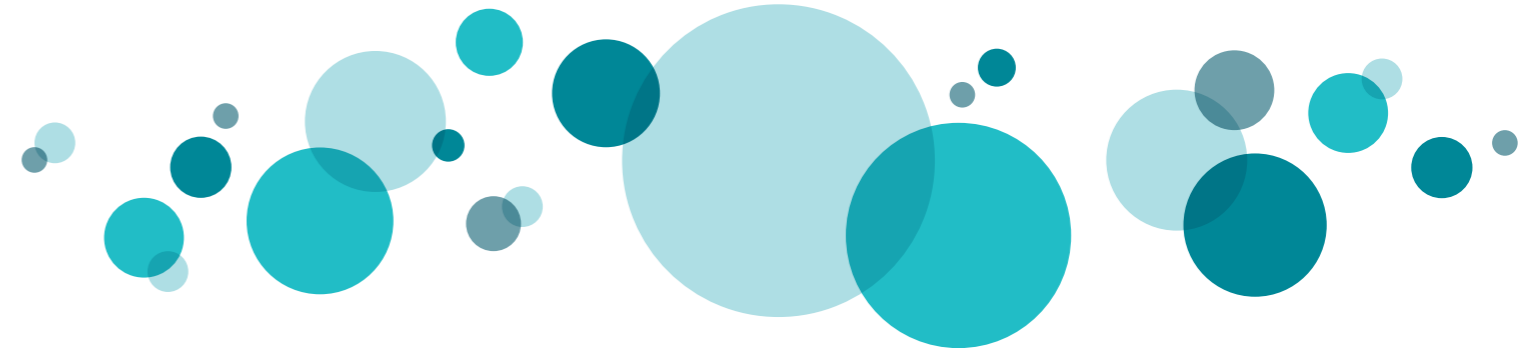
株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座に記録されました株主様は、三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

未払配当金のお支払いについて
三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

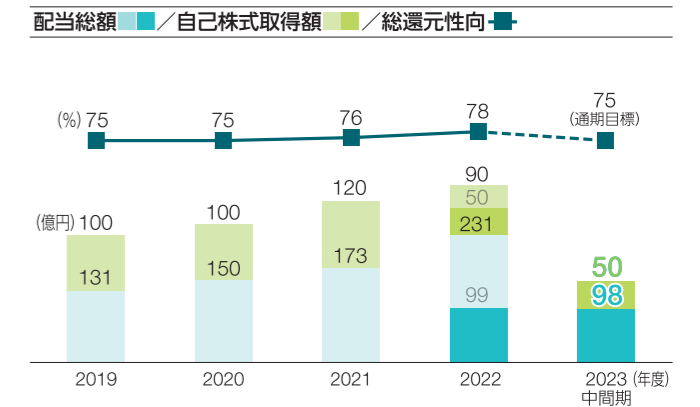
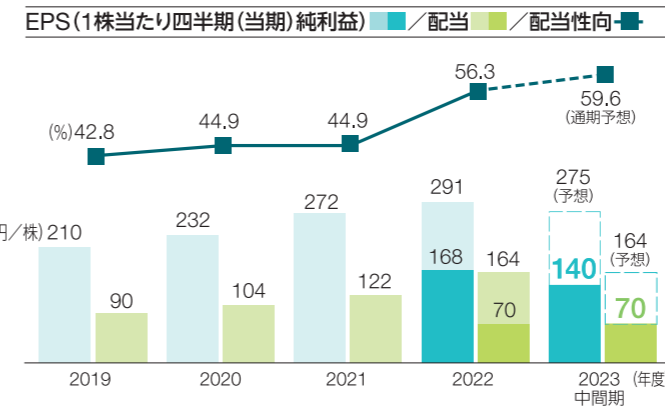
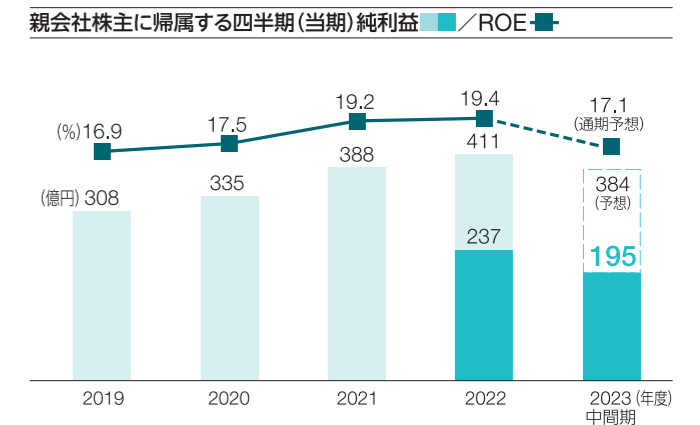
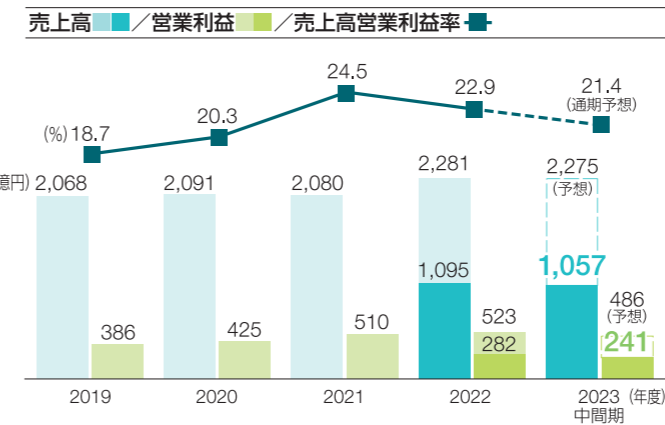
株主・投資家の皆様へ Business Report

第154期 中間報告書
2023年4月1日から2023年9月30日まで

証券コード：4021



連結財務ハイライト



Pick Up 「第23回 日経エデュケーションチャレンジ for SDGs」へ参加

当社は今年8月、日本経済新聞社が主催する「第23回 日経エデュケーションチャレンジ(エデュチャ) for SDGs」へ参加しました。エデュチャとは、高校生向けのキャリア教育イベントであり、今年は「持続可能な社会と私の未来」というテーマで、当社を含め7社の参加企業から高校生向けに授業が行われました。当社からは、「安全性を正しく評価することでものを創る」というタイトルで授業を行い、普段口にしていない食べ物でも過剰摂取すれば毒性が生じうることや、他方で毒性について過度に危険視せず正しい知識をもって正しく怖がることの大切さ等を伝えました。当社は、社会課題発見・解決を担える人材育成に寄与するため、今後もこうした活動に積極的に取り組んでまいります。



株主の皆様へ



取締役社長

八木 晋介

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
当中間期における国内景気は、半導体不足の一時的な緩和を受けた自動車の輸出や円安を追い風とするインバウンド需要が増加基調を示しましたが、物価高騰を背景として個人消費を中心に国内需要が伸び悩みました。

当社グループの概況につきまして、化学品セグメントは、基礎化学品で、尿素・「アドブルー®*1」(高品位尿素水)や硝酸製品(金属溶解・表面処理等)が増収となりました。また、ファインケミカルで、環境化学品(プール・浄化槽用殺菌・消毒剤等)の販売が堅調に推移しましたが、「テピック」(粉体塗料硬化剤、封止材材料等)は減収となりました。機能性材料セグメントは、ディスプレイ材料で、「サンエバー」(液晶配向材用ポリイミド)が増収となりました。半導体材料は、半導体用反射防止コーティング材(ARC®*2)および多層材料(OptiStack®*2)が顧客の稼働低調を受けて減収となりました。農業化学品セグメントは、フルララネル(動物用医薬品原薬)が増収となりました。国内向け農薬は、「グレーシア」(殺虫剤)の販売は堅調に推移しましたが、「ラウンドアップ」(非選択性茎葉処理除草剤)は減収となりました。海外向け農薬は、「グレーシア」の売上は伸長しましたが、「ライメイ」(殺菌剤)は減収となりました。ヘルスケアセグメントは、「リバロ」(高コレステロール血症治療薬)原薬が、国内、海外ともに減収となる一方で、「ファインテック」は増収となりました。

この結果、当中間期は、売上高、利益ともに前年同期を下回りました。なお、中間配当金につきましては、1株当たり70円(前期中間配当金と同じ)とさせていただきます。

今年度の業績予想につきましては、足元での需要予測をもとに、本年5月の公表値について、売上高、営業利益、経常利益、当期純利益すべてを下方修正いたしました。前年比でも、減収減益となる見通しとなっています。

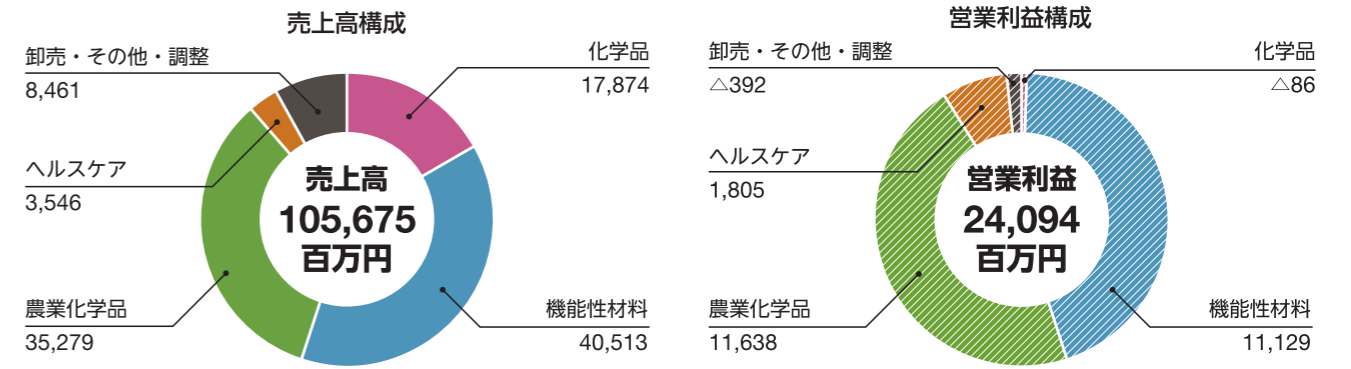
当社グループは、昨年度までに、営業利益と経常利益は9年連続、当期純利益は10年連続で過去最高を記録してまいりましたが、今年度、その記録が途切れる見通しとなっております。依然として予断を許さない事業環境のなか、グループ一丸となって、先を見据えた諸施策を推進してまいります。

株主の皆様におかれましては、より一層のご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

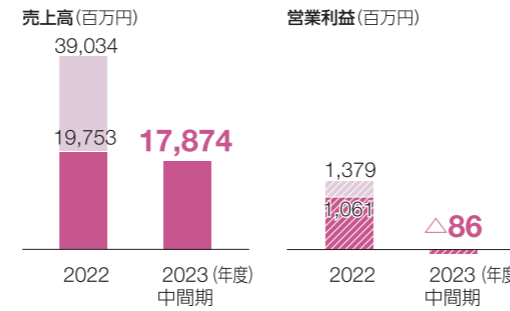
セグメント別概況

2023年度中間期

「決算短信・決算説明資料」の詳細はこちら



■ 化学品セグメント 売上高構成比：16.9%



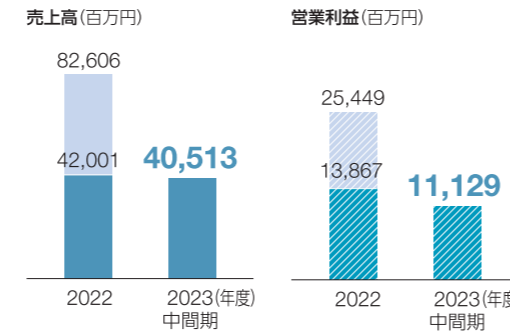
基礎化学品では、尿素・「アドブルー®*1」(高品位尿素水)や硝酸製品(金属溶解・表面処理等)が増収となりました。メラミン(接着剤等)は、構造改革に伴い昨年第3四半期に販売を終了した結果、減収となりました。ファインケミカルでは、環境化学品(プール・浄化槽用殺菌・消

毒剤等)は堅調に推移しましたが、「テピック」(粉体塗料硬化剤、封止材材料等)は減収となりました。

この結果、当セグメントの売上高は178億74百万円(前年同期比18億78百万円減)、営業損失は86百万円(同11億47百万円減益)となりました。



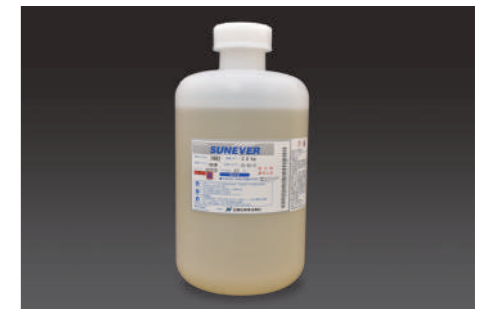
■ 機能性材料セグメント 売上高構成比：38.3%



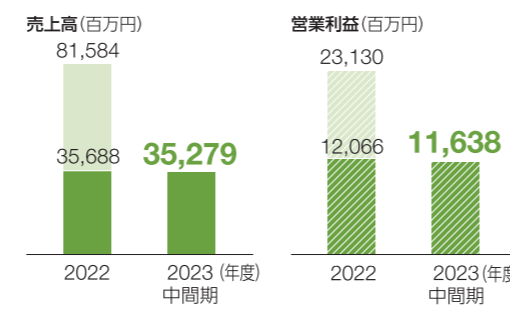
ディスプレイ材料では、「サンエバー」(液晶配向材用ポリイミド)が増収となりました。半導体材料は、半導体用反射防止コーティング材(ARC®*2)および多層材料(OptiStack®*2)が顧客の稼働低調を受けて減収となりました。無機コロイドは、「スノーテックス」(電子材料

用研磨剤、各種表面処理剤等)やオルガノシリカゾル・モノマーゾル(各種コート剤、樹脂添加剤)が減収となりました。

この結果、当セグメントの売上高は405億13百万円(前年同期比14億88百万円減)、営業利益は111億29百万円(同27億37百万円減)となりました。



■ 農業化学品セグメント 売上高構成比：33.4%



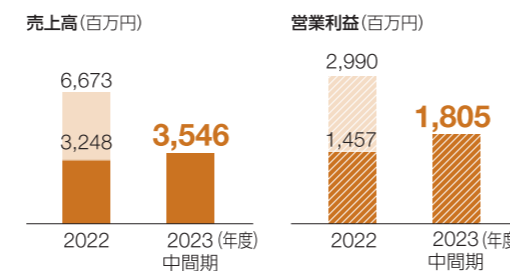
フルララネル(動物用医薬品原薬)は増収となりました。国内向け農薬は、「グレーシア」(殺虫剤)は堅調に推移しましたが、「ラウンドアップ」(非選択性茎葉処理除草剤)が減収となりました。海外向け農薬は、「グレーシア」は伸長しましたが、「ライメイ」(殺菌剤)は減収となりました。

この結果、当セグメントの売上高は352億79百万円(前年同期比4億9百万円減)、営業利益は116億38百万円(同4億27百万円減)となりました。



※「ブラベクト®」は、Merck & Co., Inc.の子会社であるIntervet International B.V.の登録商標です。

■ ヘルスケアセグメント 売上高構成比：3.4%



「リバロ」(高コレステロール血症治療薬)原薬は、国内、海外ともに減収となりました。「ファインテック」は、増収となりました。

この結果、当セグメントの売上高は35億46百万円(前年同期比2億98百万円増)、営業利益は18億5百万円(同3億48百万円増)となりました。



※1 アドブルー®はドイツ自動車工業会(VDA)の登録商標です。 ※2 ARC®, OptiStack®はBrewer Science, Inc.の登録商標です。